

海外学会報告 / Report of Meeting

SPA winter meeting 2003 (Florida, USA)

上園 晶一

東京女子医科大学 麻酔科

米国の小児麻酔学会 (Society for Pediatric Anesthesia, SPA) は、アメリカ麻酔学会 (ASA) の前日に開かれる 1 日だけの年次総会のほかに、冬に 3 日間にわたる学術集会を毎年開催しています。後者の学会は、SPA とアメリカ小児学会 (American Academy of Pediatrics, AAP) の麻酔科セクションとの共同主催の形をとっています。

私は、今年 10 月にサンフランシスコにおける日本小児麻酔学会とのジョイントミーティングの打ち合わせと学会発表をかねて、昨年に引き続きこの学会に参加しました。昨年は、埼玉医科大学総合医療センター麻酔科の照井克生先生と一緒にいたのですが、今年は単独での参加になりました。

学会会場は、フロリダの Fort Myers の Sanibel Harbour Resort というホテルです。Fort Myers は、ボストンレッドソックスのキャンプ地として知られ、ライバルのニューヨークヤンキースのキャンプ地であるタンパからは、車で約 1 時間ぐらいの所に位置します。

学会参加者は約 300 人で、アメリカ以外からの参加者は少数でした。プログラムは、例年と同じように、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、リフレッシュコースなど盛りだくさんで、臨床的な内容が大部分をしめました。具体的な題目については、SPA のホームページ (www.pedsanesthesia.org) から meeting の項をご覧ください。

毎年この学会では、AAP が、小児麻酔の領域に多大な貢献のあった麻酔科医に、Robert Smith Award (Smith 先生はボストン小児病院の初代麻酔科部長) を授与しています。今年はその榮譽に浴したののは、ピッツバーグ大学麻酔科教授の本山悦郎先生でした。本山先生は、ピッツバーグ小児病院麻酔科部長の Peter Davis 先生から短い紹介を受けた後、スタンディングオベーションのなか、Smith Award の盾をお受けになりました。受賞スピーチのなかでは、Smith 先生との出会いやその後の研究について、ユーモアを交えながらお話になり、ご自分の小児麻酔科医としての歴史を振り返っていただきました。私も、同じ日本人として大変誇りに感じ、その場に居合わせることができて幸運でした。

ジョイントミーティングの打ち合わせは、学会期間中、何度か行われ、着々と準備が進んでいることを実感できました。ジョイントミーティングの成功の鍵は、日本側からどのぐらいの参加があるかにかかっていると思います。日米の小児麻酔科医の間で草の根の交流ができるよう、準備委員会ではできる限りのことをするつもりですので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

